

DENIKA

2012年度第2四半期 決算説明会



2012年11月7日

高い技術力で「資源」から「価値あるモノ」を生み出す企業

経営概況 説明資料 目次

1. 2012年度 第2四半期決算概要

- ①前年同期比 P. 1
- ②前年同期比(増減要因) P. 2
- ③前年同期比(セグメント別) P. 3
- ④当初予想比 P. 4
- ⑤当初予想比(セグメント別) P. 5

2. 2012年度 通期業績予想

- ①前提条件等 P. 6
- ②当初予想比・前年同期比 P. 7
- ③当初予想比(セグメント別) P. 8
- ④前年同期比(セグメント別) P. 9

3. 今後の具体的戦略

- ①経営環境の変化 P.10
- ②成長戦略の軌道修正(その1) P.11
- ③成長戦略の軌道修正(その2) P.12

4. トピックス 水力発電設備の整備 P.13

5. 資本政策 P.14

6. 最後に(DENKAの企業活動) P.15

業績の予想の適切な利用に関する説明

1. 2012年第2四半期 決算概要 ①前年同期比

単位:億円

	実績	前年同期	増減	主な増減要因
売上高	1,642	1,834	▲ 192	有機系素材 ▲ 27 無機系素材 ▲ 1 電子材料 ▲ 13 機能・加工製品 21 その他・消去 0
(海外売上高の割合)	(31.4%)	(29.2%)	(+ 2.2%)	
営業利益	98	118	▲ 20	← ▲ 20
(営業利益率)	(6.0%)	(6.4%)	(▲0.4%)	持分法投資利益減 他 ▲ 4
経常利益	84	108	▲ 24	← ▲ 24
				法人税等 (税効果調整後) 6
純利益	53	70	▲ 17	▲ 17

1. 第2四半期決算概要 ②前年同期比 (増減要因)

単位:億円

売上高 1,642 (▲ 192)

(前年同期比)

①数量差: スチレンモノマーの一基体制移行
クロロプレンゴム等出荷減

(▲ 113)

(▲ 65)

(▲ 178)

②価格差: スチレン系樹脂製品価格下落等

(▲ 14)

営業利益 98 (▲ 20)

①数量効果: 数量差▲178×(平均)限界利益率14%

(▲ 25)

②交易条件: 製品価格▲14>原燃料価格上昇+17

(+ 3)

③コスト: 残存価格5%償却終了 他

(+ 10)

④在庫の影響 [+15 → +8] 他

(▲ 8)

1. 第2四半期 決算概要 ③前年同期比（セグメント別） 単位：億円

売上高	実績	前年同期	増減
有機系素材事業	696	845	▲149
無機系素材事業	235	238	▲3
電子材料事業	204	230	▲26
機能・加工製品事業	358	358	▲1
その他事業	149	162	▲13
合計	1,642	1,834	▲192

販売価格差	数量差
▲5	▲144
1	▲4
▲4	▲23
▲7	6
0	▲13
▲14	▲178

営業利益	実績	前年同期	増減
有機系素材事業	11	38	▲27
無機系素材事業	17	17	▲1
電子材料事業	20	33	▲13
機能・加工製品事業	47	26	21
その他事業 / 消去差	4	3	1
合計	98	118	▲20

販売価格差	数量差	コスト差等
▲5	▲18	▲5
1	▲4	2
▲4	▲15	5
▲7	11	17
0	1	0
▲14	▲25	19

1. 第2四半期 決算概要 ④当初予想比

単位:億円

	実績	当初予想	増減	主な内訳
売上高	1,642	1,780	▲138	有機系素材 ▲ 14
(海外売上高の割合)	(31.4%)			無機系素材 ▲ 0
				電子材料 ▲ 1
				機能・加工製品 9
				その他・消去 0
営業利益	98	105	▲ 7	← ▲ 7
(営業利益率)	(6.0%)	(6.7%)		為替差損 0 → (-) 5 他
経常利益	84	100	▲ 16	← ▲ 16
				特別損失(-) 5 → (-) 5 他
純利益	53	60	▲ 7	← ▲ 7

1. 第2四半期 決算概要 ⑤当初予想比（セグメント別） 単位：億円

売上高	実績	当初予想	増減
有機系素材事業	696	754	▲ 58
無機系素材事業	235	238	▲ 3
電子材料事業	204	235	▲ 31
機能・加工製品事業	358	379	▲ 21
その他事業	149	174	▲ 25
合計	1,642	1,780	▲ 138

販売価格差	数量差
▲ 29	▲ 29
▲ 1	▲ 2
1	▲ 33
▲ 3	▲ 18
0	▲ 25
▲ 32	▲ 105

営業利益	実績	当初予想	増減
有機系素材事業	11	25	▲ 14
無機系素材事業	17	17	▲ 0
電子材料事業	20	21	▲ 1
機能・加工製品事業	47	38	9
その他事業 / 消去差	4	4	0
合計	98	105	▲ 7

販売価格差	数量差	コスト差等
▲ 29	▲ 12	27
▲ 1	▲ 1	1
1	▲ 14	11
▲ 3	▲ 5	17
0	0	0
▲ 32	▲ 31	57

2. 2012年度 通期業績予想 ① 前提条件等

単位:億円

前提条件	2012年度 4~9月	2011年度 4~9月
為替レート [円/\$]	79.4	79.8
国産ナフサ [円/Kg]	55,450	57,000

2012年度 10~3月 予想	2012年度 通期 予想	2011年度 通期 実績
80.0	79.7	79.1
55,700	55,600	55,000

参考数値	2012年度 4~9月	2011年度 4~9月	増減
設備投資額	127	105	22
減価償却費	107	114	▲ 7
研究開発費	52	53	▲ 1
有利子負債残高	1,157	1,159	▲ 2

2012年度 10~3月 予想	2012年度 通期 予想	2011年度 通期 実績
123	250	229
113	220	232
54	106	106
—	1,140	1,180

2. 通期業績予想 ②当初予想比・前年同期比

単位:億円

	今期予想			当初予想	前年同期
		4~9月	10~3月		
売上高	3,460	1,642	1,818	3,760	3,647
営業利益	200	98	102	250	207
(営業利益率)	(5.8%)	(6.0%)	(5.6%)	(6.6%)	(5.7%)
経常利益	175	84	91	230	190
純利益	110	53	57	135	113

2. 通期業績予想 ③当初予想比 (セグメント別)

単位:億円

売上高	今期予想	当初予想	増減
有機系素材事業	1,400	1,541	▲141
無機系素材事業	484	486	▲2
電子材料事業	417	510	▲93
機能・加工製品事業	770	803	▲33
その他事業	389	420	▲31
合計	3,460	3,760	▲300

販売価格差	数量差
▲58	▲83
▲2	▲0
4	▲97
▲6	▲27
0	▲31
▲62	▲238

営業利益	今期予想	当初予想	増減
有機系素材事業	14	44	▲30
無機系素材事業	39	39	0
電子材料事業	39	65	▲26
機能・加工製品事業	99	92	7
その他事業 / 消去差	9	10	▲1
合計	200	250	▲50

販売価格差	数量差	コスト差等
▲58	▲23	51
▲2	▲2	3
4	▲47	17
▲6	▲10	22
0	▲1	0
▲62	▲82	94

2. 通期業績予想 ④ 前年同期比 (セグメント別)

単位:億円

売上高	今期予想	前年同期	増減
有機系素材事業	1,400	1,636	▲236
無機系素材事業	484	486	▲2
電子材料事業	417	434	▲17
機能・加工製品事業	770	761	9
その他事業	389	331	58
合計	3,460	3,647	▲187

販売価格差	数量差
11	▲247
1	▲2
▲4	▲13
▲12	21
0	58
▲3	▲184

営業利益	今期予想	前年同期	増減
有機系素材事業	14	37	▲23
無機系素材事業	39	39	0
電子材料事業	39	46	▲7
機能・加工製品事業	99	77	22
その他事業 / 消去差	9	8	1
合計	200	207	▲7

販売価格差	数量差	コスト差等
11	▲10	▲25
1	▲1	1
▲4	▲7	4
▲12	18	16
0	1	0
▲3	1	▲4

3. 今後の成長戦略 ① 経営環境の変化

当社中期経営計画「DENKA100」基本方針

クロロプレンゴムやスチレンチェーンの収益を基礎として
電子材料や機能・加工製品などの
高収益製品を「成長分野」と「成長地域」で伸ばす

経営環境の変化

- ・ 欧州債務危機問題による世界経済減速
- ・ 中国など新興国の成長率鈍化
- ・ 円高定着による影響の具体化
- ・ 成長分野、末端ニーズの変化

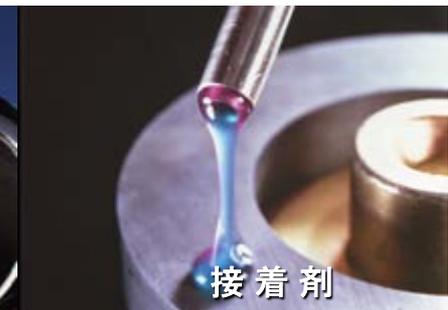
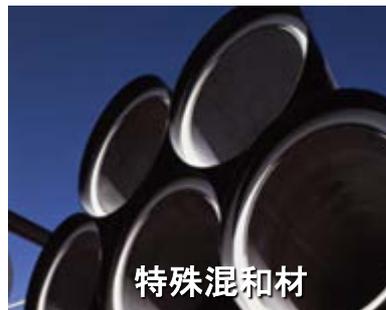
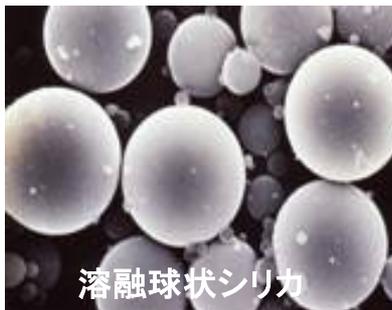


成長戦略の軌道修正

3. 今後の成長戦略 ②成長戦略の軌道修正(その1)

生産体制・拠点配置の最適化とコストダウンの徹底

- ・ 海外生産加速(国内はハイエンド品シフト)
- ・ 国際競争に耐えうるコストの構築



3. 今後の成長戦略 ③成長戦略の軌道修正(その2)

成長ドライバーの候補：環境、エネルギー、健康・医療分野

アルミナ繊維増強：	自動車の排ガス浄化部品など
アセチレンブラック増強：	LiB、洋上風力発電等の送電ケーブル
窒化珪素増強：	自動車・風力発電向けベアリング
検査薬・関節機能改善材：	簡易診断キット、脂質系循環器系検査薬など



自動車排ガス浄化部品



ベアリング



風力発電



送電ケーブル



検査試薬・診断薬

4. トピックス 水力発電設備の整備

次の100年に向けた取り組み

既存水力発電所の増発電

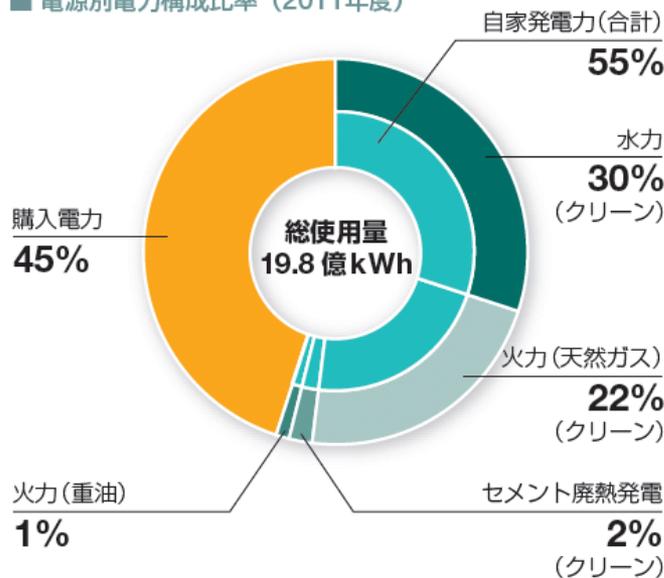
- ・ 整備、発電効率向上、取水量増加等増発電対策
- ・ 2015年までに発電能力10%アップ(2007年比)

新規水力発電所の建設

- ・ 2017年完成を目標に水力発電所建設を検討



■ 電源別電力構成比率 (2011年度)



1 青海川発電所 (3,300kW)	8 海川第3発電所 (2,600kW)
2 小瀧川発電所 (4,200kW)	9 海川第4発電所 (900kW)
3 大瀧発電所 (25,900kW)	10 海川第6発電所 (準自家用 15,000kW)
4 大所川発電所 (8,400kW)	11 瀧上発電所 (準自家用 15,000kW)
5 横川第1発電所 (10,000kW)	12 長町発電所 (準自家用 5,000kW)
6 横川第2発電所 (16,000kW)	13 飯倉第2発電所 (準自家用 10,200kW)
7 海川第1発電所 (3,800kW)	14 北小谷発電所 (準自家用 10,700kW)
8 海川第2発電所 (4,700kW)	

5. 資本政策

単位:億円

【主要財務指標】	2012年9月末	(2012年3月末)
総資産	3,953	(4,026)
有利子負債	1,157	(1,180)
純資産	1,716	(1,727)
自己資本比率	43. ⁰ %	(42. ³ %)
D/Eレシオ	0.674	(0.683)

【株主還元推移】

DENKA100 : 「安定配当をベースに30%を目指す」

	08年度 実績	09年度 実績	10年度 実績	11年度 実績	12年度 予想
純利益	14	105	143	113	110
配当(円/株)	7.0	8.0	10.0	10.0	10.0
配当性向	243%	38%	34%	43%	44%
自己株式取得	30			27	19

【2012年9月末】
百万株
 発行済株式数 481.8
 (自己株式 7.0)

6. 最後に（DENKAの企業活動）

企業活動

事業活動

利益の追求

品質・安全・
環境・法令

従業員・株主・取引先・
地域などへの誠実な対応

100年にわたり築いた信頼を次の100年も継続していく

業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。